

平成 22 年 2 月 1 日
第 6 号



みちのく環境だより

環境省東北地方環境事務所 <http://tohoku.env.go.jp>

東北地域における環境問題の取組と東北地方環境事務所の活動内容を紹介しています。

地域の取組紹介

～いわて環境学習応援隊
(岩手県)
地域の環境学習を応援します

この「いわて環境学習応援隊」は、企業が取り組んでいるCSR活動（企業の社会的責任）の中にある環境学習に結びつくものを「いわて環境学習応援隊」として県に登録し、県を通じて学校等に情報提供し、学校、地域等と企業を結びつける支援の仕組みを構築すると同時に環境学習の機会を拡大していこうという取組です。

現在、8企業・団体(平成21年11月現在)に登録していますが、今後さらに登録数を増やしていく予定です。

岩手県では、環境に優しい取組が盛んな地域「環境王国いわて」の実現を目指して環境に配慮した行動のできる人材育成に取り組んでいきたいとしています。



環境学習応援隊イメージ

～東北地域のまほろば事業
森林林業日本一の町づくり
推進事業
(岩手県住田町地域)

住田町の概要と取組

住田町は岩手県の東南部に位置する林業が盛んな町です。

森林が町の面積の約9割を占める同町は、森林・林業日本一の町づくりを目指して、環境問題も産業振興の一環として取り組んでいます。

その住田町が森林地域という地理的特性を活かして、平成16年から3年間、環境省の「環境と経済の好循環のまちモデル事業」に取り組みました。

取り組み内容

モデル事業では、木質バイオマスを活用した施設整備事業と森林・林業に係る普及啓発事業を実施しました。

このうち施設整備事業では、木工団地（住宅木材等のプレカット加工施設、集成材工場、製材工場等）で発生する木屑を燃料とする木屑焚きボイラーと同ボイラーの蒸気を利用して発電する発電設備を団地内に設置し、電気の供給の他、余剰の蒸気を団地内の暖房・乾燥及び農業関連施設の熱源に利用できるようにしました。

また、町内の観光施設に木質ペレットボイラーを整備した他、一般家庭等には木質ペレットストーブの導入補助等を行いました。

普及啓発事業では、森林・林業に係る人づくりを目的として、森林、自然はもとより、地域の歴史や伝統文化等にも幅広く精通している人材を育成する「森の案内人」講座や森林・林業体験教室等を開催しました。

事業効果と問題点

そして次の取組へ

事業効果としては、施設整備による平成20年度のCO2削減量は約8,700CO2-トン、目標値に対して約123%と高い効果をあげました。
(次ページへ)

環境省東北地方環境事務所

〒980-0014

仙台市青葉区本町3-2-23
仙台第2合同庁舎

電話:022(722)2870(代表)

FAX:022(722)2872

電子メール: REO-TOHOKU@env.go.jp

(リサイクル、有害廃棄物輸出入関係、地球温暖化対策、石綿健康被害等に関すること)

電子メール: TOHOKU@env.go.jp

(国立公園、エコツーリズム、自然再生、野生生物、外来生物等に関すること)

また、木屑焚きボイラーと発電設備の導入により、年間約2億円の経費削減効果となっています。

現在、木工団地では、営業用車両とフォークリフトで使用する以外の化石燃料は購入していないそうです。

しかし一方で、昨今、木工団地の生産規模の拡大に伴い、木材乾燥施設の蒸気使用量が増加したことにより、発電用の蒸気を充分確保することができなくなり、発電量が不足気味となっています。

このため、同町では、今後、発電専用のボイラーを新たに設置して、林地残材等を燃料に有効利用することで発電用蒸気を確保するとともに、温室効果ガスの排出削減を一層促進したいとしています。

また、この取組を J-VER (オフセット・クレジット) 制度や国内排出権取引制度等に係る排出削減プロジェクトに発展させることも今後検討してまいりたいとしています。



木屑炊きボイラー

～秋田県水と緑の森づくり税について (秋田県)

秋田県では県民共有の財産である「ふるさと秋田」の森林を、将来にわたって健全に守り育てていくため、その恩恵を受けている県民全体で支えていく仕組みとして平成20年4月から「秋田県水と緑の森づくり税」をスタートしました。

課税方法は、県民税の均等割に上乘せする方式で、個人が800円/年、法人は均等割額の8%相当額/年になります。

森づくり税を活用した取組は、森林所有者や林業関係者によるこれまでの森づくりとは別に、新たに県民全体で支えるという視点に立ち、環境や公益性を重視した森づくり(ハード事業)、県民参加の森づくり(ソフト事業)の2つの推進方針で進めています。

取組の一例としては、スギ人工林を広葉樹の混じった混交林へ誘導し、災害に強く生物多様性に配慮した森づくりを行うほか、放牧跡地等を野生動植物が生息・生育できる広葉樹林に再生する取組など、様々な取組を行っています。

今後も県民の協力の下、計画的に森林環境の保全に関する施策を推進していくこととしています。

※詳細はホームページをご覧ください

「秋田県水と緑の森づくり税」←検索
<http://www.pref.akita.jp/forest-p/zei/index.html>



彩り豊かな混交林

活 動 紹 介

～冬の渡り鳥観察会 (宮城県伊豆沼・内沼)

東北地方環境事務所と仙台市八木山動物公園、大崎市は、11月29日(日)と12月5日(土)の二本立てで「冬の渡り鳥観察会」を実施しました。

宮城県内では、ガン・カモ類をはじめとして多くの渡り鳥が越冬します。特に天然記念物であるマガンは、全国に飛来するうちの約8割が宮城県内で越冬し、2万羽ものマガンが冬を越す化女沼はラムサール条約に登録されています。

今回の観察会では、冬の代表的な渡り鳥であるガン・カモ類について、動物公園内でその生態、特徴や観察の基礎を学んだのち、化女沼で彼らが生活する姿を実際に見ていただくことで、自然観察の楽しさを知り、自然への理解を深めていただくことを目的としました。

第1回観察会は、八木山動物公園にて、ガン・カモ類を間近に観察し触れ合うことで、その生態と野鳥観察の基礎を学び、第2回観察会は、ガン・カモ類の集団渡来地である化女沼にて、鳥たちが実際に暮らしている様子やマガンの埒(ねぐら)入りを観察していただきました。



野鳥観察化女沼にて

職 場 紹 介

～鹿角自然保護官事務所

鹿角自然保護官事務所では、十和田八幡平国立公園八幡平地域のうち秋田県に係る区域の管理を2名の自然保護官と1名のアクティブレンジャーで行っています。

当該国立公園の特徴は、八幡平山頂周辺の高層湿原と沼、八幡平、秋田駒ヶ岳等多数の火山群からなる多種多様な火山性の地形や噴気、噴湯の火山現象の火山景観、ブナを主とする原生的な森林、アオモリトドマツなどの亜高山性針葉樹林、さらに山稜部にはハイマツ林など原始性の高い森林等が広がっていることです。

このような優れた自然景観の維持・保全を図るため、巡視をはじめ各種法令に基づく行為の指導・審査や関係機関やパークボランティアと連携を図りながら高山

植物の盗採対策、荒廃した湿原の復元対策、外来植物の駆除等様々な業務を行っています。

また、国立公園の適正な利用を図るために、関係者の協力を得て秋田駒ヶ岳においてマイカー規制を実施しています。

さらに、降雪期においては特別保護地区等のエリアにおいて、スノーモービル乗り入れがなされないようパトロールを実施しています。

一方、自然とのふれあいを通じて自然への理解を深め、適切な利用を促進し、環境保全への意識を啓発する、自然観察会や体験学習の開催なども2地区のパークボランティアの方々に協力いただき多数行っています。

特に八幡平ビジターセンターでは、八幡平の豊かな自然や歴史についての情報提供を行うとともに、これら自然とのふれあい行事を開催しています。

これらの行事に、皆様の参加を心よりお待ちしております。

今後とも、地元自治体、山岳関係者等と連携を図り力をあわせ、八幡平の優れた自然環境の保全と適切な利用のために尽力する所存です。

鹿角自然保護官事務所
自然保護官 井手 正博
" 金萬 誠栄
アクティブレンジャー 大堀 拓



鹿角自然保護官事務所職員

東北地方環境事務所の業務予定(平成22年2月・3月)

	時 間	業 務 予 定 内 容		場 所 等	担 当 課 等
2.3	13:00～ 17:00	平成21年度第2回 省エネルギーセミナー	算定・報告・公表制度の説明 (主催:岩手県)	いわて県民情報交流センター(盛岡市)	環境対策課 (向田)
2.6	10:00～ 14:00	裏山スノーシューハイク in十和田湖	十和田湖休み屋においてスノーシューを使って歩き、 自然観察を行う	十和田休屋中山半島 (十和田市)	十和田自然 保護官事務 所(山本)
2.11	13:00～ 16:30	スポーツエコボラン ティア研修会	ボランティア・スポーツ関係者及び一般向けの、ス ポーツイベントにおけるゴミ分別とリサイクルにつ いての研修(主催:エコシティ仙台プロデュースプ ロジェクト)	仙台市陸上競技場第4 会議室(仙台市)	廃棄物・リサ イクル対策課 (倉谷)
2.12	13:00～ 16:00	平成21年度 新エ ネ・省エネ促進研修 会	来年度事業の概要等の説明 (主催:岩手県)	岩手県庁(盛岡市)	環境対策課 (池田)

	時間	業務予定内容		場所等	担当課等
2.13	9:00～ 12:00	自然ふれあいイベント 「冬の五色沼」	パークボランティア等から冬の自然の魅力などの説明を受けながら散策	五色沼自然探勝路 (北塩原村)	裏磐梯自然保護官事務所(福原)
2.14～ 2.15	10:00～ 16:00	ラムサールフェスティバル 2010 フライウェイパートナーシップ (EAAFP)事業	大崎市ラムサールフェスティバル(東アジア・オーストラリア地域の渡り性水鳥保全連携事業の参加認定証授与式)及び国内参加湿地交流会	宮城県大崎市田尻文化センター等	野生生物課(多田)
2.15	13:30～ 16:00	自動車リサイクル法関係行政連絡会議	自動車リサイクル法の施行状況や不法投棄・不適正保管車両実態調査結果についての会議	仙台第2合同庁舎 2階 大会議室(仙台市)	廃棄物・リサイクル対策課(菅原)
2.15	13:30～ 15:30	平成 22 年度エネルギー対策特別会計予算等に係る説明会	来年度の事業の概要及び算定・報告・公表制度の説明	ふくしま中町会館 (福島市)	環境対策課(池田、向田)
2.17	18:30～ 20:30	第 4 回 EPO サロン	「温泉から発電まで」 ～地球の熱の利用法～	EPO東北会議室 オークビル5F (仙台市)	環境対策課(片岡)
2.17	13:00～ 17:00	エネルギー合理化シンポジウム	算定・報告・公表制度の説明 (主催:(財)省エネルギーセンター)	仙台市太白区文化センター(仙台市)	環境対策課(向田)
2.17	13:30～ 16:30	エコアクション 21 ガイドラインの改定に関する説明会	ガイドライン改訂のポイント説明、各地の事例紹介等	フォレスト仙台2Fフォレストホール(仙台市)	環境対策課(矢吹)
2.18	13:30～ 16:00	土壌汚染対策指定調査機関向け講習会行政連絡会議	土壌汚染対策法の改正内容を指定調査機関向けに行う説明会	イズミティ21(仙台市)	廃棄物・リサイクル対策課(佐々木)
2.21	9:00～ 12:00	野鳥観察会「大潟草原に集う渡り鳥たち」	大潟草原鳥獣保護区でバードウォッチングをしながら自然を観察を行う	国指定大潟草原鳥獣保護区(秋田県大潟村)	秋田自然保護官事務所(畠山)
2.24	13:30～ 15:30	平成 22 年度エネルギー対策特別会計予算等に係る説明会	来年度の事業の概要及び算定・報告・公表制度の説明	仙台第 2 合同庁舎(仙台市)	環境対策課(池田、向田)
2.25	10:00～ 15:40	食品リサイクル登録事業者制度・計画認定制度説明会	食品リサイクル法に基づく登録事業者制度の概要説明、計画認定制度の優良事例紹介及び食品循環資源再生利用施設の現場見学	「KKR ホテル仙台」 (仙台市)	廃棄物・リサイクル対策課(永井)
3.7	9:00～ 12:00	最上川バードウォッチング	最上川河口域で冬を過ごす野鳥の観察をします。初心者の方にもバードウォッチングの楽しさと観察のポイントをお伝えします。	山形県酒田市(最上川河口)	鳥海南麓自然保護官事務所(大木)
3.10	13:30～ 15:30	平成 22 年度エネルギー対策特別会計予算等に係る説明会	来年度の事業の概要及び算定・報告・公表制度の説明	秋田地方総合庁舎 (秋田市)	環境対策課(池田、向田)
3.11	13:30～ 15:30	平成 22 年度エネルギー対策特別会計予算等に係る説明会	来年度の事業の概要及び算定・報告・公表制度の説明	県民福祉プラザ (青森市)	環境対策課(池田、向田)
3.12	13:30～ 16:30	平成21年度改正土壌汚染対策法説明会	土壌汚染対策法の改正内容を地方自治体向けに行う説明会	宮城県自治会館2階会議室(仙台市)	廃棄物・リサイクル対策課(佐々木)

誌上写真展



テンとの邂逅(鳶野鳥の森)
(十和田自然保護官事務所 アクティブ
レンジャー村田野人)



アカゲラの食事風景
(秋田自然保護官事務所 アクティブ
レンジャー足利直哉)



休屋巡視(乙女の像)
(十和田自然保護官事務所 アクティブ
レンジャー種村由貴)



極寒を耐えるハクチョウ
(秋田自然保護官事務所 アクティブ
レンジャー足利直哉)



ブナのトンネル
(西目屋自然保護官事務所 山崎麻里)



最上川下流域のイタチ
(鳥海南麓自然保護官事務所 大木庸子)

題字横の写真：休屋巡視 乙女の像(青森県十和田市)
(十和田自然保護官事務所アクティブレンジャー 種村由貴)

※当事務所以外の方からの投稿もお待ちしております。